

ビワ生育情報

千葉県
平成22年2月号

平成22年1月の気象

平成22年1月の半旬別気象は表1に示した。平均気温は第4～第6半旬で平年を上回り、中でも第5半旬は平年より2.7 高かった。月平均気温は6.6 で、平年より0.5 高く、前年より0.1 低かった。

氷点下日数は第1半旬を除く全ての半旬でみられた。月合計は10日で、平年と同程度、前年より4日多かった。

最低極温は第3及び第4半旬を除く全ての半旬で平年を上回った。1月15日には-1.9を記録し、この冬一番の冷え込みであった。

降水量は全ての半旬で平年を下回り、第4半旬には降雨がなかった。月合計は34mmで、平年の35%、前年の29%であった。

日照時間は第2半旬を除く全ての半旬で平年を下回った。月合計は149時間で、平年の88%、前年の1.2倍であった。

表1 平成22年1月の気象 (暖地園芸研究所)

| 半旬 | 気温() | | | 氷点下日数(日) | | | 最低極温() | | |
|----------|-------|-----|-----|----------|-----|----|---------|------|------|
| | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 |
| 1 | 6.8 | 6.8 | 6.0 | 0 | 1.2 | 0 | 0.5 | -0.4 | 0.2 |
| 2 | 5.1 | 6.4 | 5.9 | 3 | 1.5 | 0 | -0.7 | -0.9 | 0.1 |
| 3 | 4.5 | 6.0 | 4.9 | 2 | 1.6 | 4 | -1.9 | -1.3 | -1.8 |
| 4 | 6.1 | 5.9 | 7.1 | 3 | 1.6 | 1 | -1.8 | -1.1 | -2.8 |
| 5 | 8.2 | 5.5 | 7.1 | 1 | 1.8 | 1 | -0.2 | -2.3 | -0.6 |
| 6 | 8.3 | 5.9 | 8.8 | 1 | 2.2 | 0 | -1.0 | -2.1 | 1.5 |
| 平均/計/最低値 | 6.6 | 6.1 | 6.7 | 10 | 9.8 | 6 | -1.9 | -3.4 | -2.8 |

: 1月の過去36年間の最低極温の平均

表1 (つづき)

| 半旬 | 降水量(mm) | | | 日照時間(時間) | | |
|----|---------|----|-----|----------|-----|-----|
| | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 |
| 1 | 13 | 15 | 0 | 26 | 27 | 28 |
| 2 | 2 | 22 | 11 | 29 | 27 | 12 |
| 3 | 12 | 13 | 0 | 19 | 27 | 28 |
| 4 | 0 | 11 | 9 | 24 | 27 | 20 |
| 5 | 1 | 16 | 29 | 20 | 27 | 16 |
| 6 | 7 | 20 | 71 | 31 | 34 | 17 |
| 合計 | 34 | 97 | 119 | 149 | 169 | 121 |

3月の作業 (花房の発育は次ページ)

ビワは厳寒期を過ぎて春めいてくると、枝葉の伸長が始まり、果実の肥大が急速に進む。

しかし、春先は夜間冷え込むことがあり、3月中旬までは寒波の襲来に注意が必要である。3月になると台木の芽が動き始めるので、接ぎ木は3月中に行う。また、摘果や袋掛けは寒波の襲来がなくなった頃から始める。

摘果・袋掛け

3月以降の寒波の襲来がなくなる頃を見計らって、寒害の受けにくい園から摘果・袋掛けの作業を始める。

標準的な着果程度は1果当たり20枚の葉が必要である。1果房に残す果数は、1～3果で、着果房数が多い樹では1果房に1果残すが、少ない樹では多めに着果させる。本年の花着きは不良で着果房数が少ないので、1果房に1～2果残す。3果以上着果させると果実が小さくなる。

接木

接木の適期は、台木とする実生苗の芽が動き始める3月上旬～中旬である。接木及び接木苗の植え付けは、できるだけ天気の安定した時期を選んで行う。気温が低かったり雨天の日に作業すると、接木した苗の活着率が低下する。また、4月に入ると台木の樹液の溢出が多くなり接ぎ難くなるので、接木は3月中に終わらせる。

樹及び花房の発育

ビワの開花期は表2に示した。暖地園芸研究所の開花始期は、「楠」が11月8日、「大房」が11月20日、「田中」が11月11日で、「楠」及び「田中」は平年よりそれぞれ1日、2日早かったが、前年よりそれぞれ3日、5日遅かった。「大房」は平年より5日、前年より3日早かった。

開花盛期は「楠」が11月23日、「大房」が12月27日、「田中」が11月29日で、「楠」及び「田中」は平年よりそれぞれ7日、10日早かったが、前年よりそれぞれ7日、2日遅かった。「大房」は平年より5日、前年より12日遅かった。

開花終期は「楠」が12月18日、「田中」が1月21日であった。「楠」は平年より14日早かったが、前年より6日遅かった。「田中」は平年より5日遅かったが、前年より5日早かった。「大房」は2月1日現在開花が終了していない。

開花の進みは「楠」及び「田中」が開花盛期まで平年より早かったが、年末から1月中旬までの気温が平年より低かったため、開花終期は「楠」を除き、平年より遅れている。また2月まで厳しい寒波もなく、寒害の発生はほとんどみられない。

表2 ビワの開花期 (暖地園芸研究所)

| 品 種 | 開花始期(月.日) | | | 開 花 盛 期 | | | 開 花 終 期 | | |
|-----|-----------|-------|-------|---------|-------|-------|---------|------|-------|
| | 本 年 | 平 年 | 前 年 | 本 年 | 平 年 | 前 年 | 本 年 | 平 年 | 前 年 |
| 楠 | 11. 8 | 11. 9 | 11. 5 | 11.23 | 11.30 | 11.16 | 12.18 | 1. 1 | 12.12 |
| 大 房 | 11.20 | 11.25 | 11.23 | 12.27 | 12.22 | 12.15 | - | 1.31 | 2.17 |
| 田 中 | 11.11 | 11.13 | 11. 6 | 11.29 | 12. 9 | 11.27 | 1.21 | 1.16 | 1.26 |

平年：1982年～2008年の27年間の平均

【生育情報の問合せ先:千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 果樹研究室 電話0470-22-2961】
果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でもご覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/>